

「SS研、発信します！」

第14弾

2018.3

兵庫県立大学大学院を紹介します

SS研から情報発信する「SS研、発信します！」

第14弾は、兵庫県立大学大学院
シミュレーション学研究科に
おじゃまし、大野先生にお話しさうがいました。

シミュレーション学とは
産業、環境問題、政策、基盤を
柱として、社会問題を解決する
手段としてシミュレーションを
研究する学科です。

私は基盤領域に所属し、
大規模データ処理などの
スパコンの活用技術も
教えています。

また、核融合研で
CAVEを使い始めた
ところから可視化にも
取り組んでいます。

ここには可視化の
重要性を認識した
学生さんも多く、
CAVEやVRを
使って社会に役立つ
技術の研究開発をめざして
学んでいます。

CAVEの設備は
CAVEライブラリを
用意しているので、
面倒なプログラムをしなくて
使えるようになっています。



●研究室近くにCAVEが設置されていて、すぐに使えるようになっています。



大野暢亮 教授

●京コンピュータのシンボルのそろばん！



●神戸ポートアイランドの神戸情報科学キャンパス 計算科学連携センター、左は京コンピュータ。

自前の計算機が

あるのですが、

運用は先生方が

行っているので、

ちょっと大変です。

研究室にもありますが、

物理計算の学生は、

かなりの量の計算を

しています。

ジョブの投入待ち状態に

なることもあります。

研究室にもあります。

運用は先生方が

行っているので、

ちょっと大変です。

研究室にもあります。

物理計算の学生は、

かなりの量の計算を

しています。

ジョブの投入待ち状態に

なることもあります。

研究室にもあります。

物理計算の学生は、

かなりの量の計算を